



# 輝け！北っ子

平成30年5月25日発行

5月号

発行責任者 紺野 宗作

## SNS・ネット利用のアンケート結果から…「大切なのは親子の絆」

アンケート調査へのご協力ありがとうございました。結果については裏面に掲載いたしましたのでご覧ください。今回の調査ではネットに接続している時間についての調査であり、ネットに接続していないゲームやテレビ等の時間は調査対象ではありません。その時間を加えると相当な時間、メディアに接した生活をしていることがうかがえます。

調査の集計をしていてとても気になったことがあります。それは「ルールを決めているか」という質問です。保護者は「ルールを決めている！」と回答しているのですが、子どもは「ルールは決まっていない！」と回答する例がいくつもありました。また、平日2時間以上利用している児童と保護者の多くは、「決まったルールがあり、そのルールを守っている」と答えている点です。ルールがあっても平日2時間以上の利用は、やり過ぎだと感じます。

本格的なネット社会を迎え、子ども達にネットを禁止し続けることは非現実的だと思います。小学生の内からネットに対する正しい判断力を培い、将来に渡って犯罪等に巻き込まれないように指導していくことが急務です。それにも増して危惧されるのが「親子の絆」ではないでしょうか。子ども達は、相当な時間をメディア等と過ごしています。忙しい現代の家庭にとって、親子のコミュニケーションの減少に拍車をかけているのではないのでしょうか。「親子の絆」で育まれる大切なものは「言語」と「感性」です。言語とは勝手に自動的にスイッチが入って覚えるのではなく、あくまで家族や身近な大人から語りかけられる言葉を聞いて、口許を見て、子ども達は学んでいきます。スマホのような画面、光の粒がきらきらしているような画面では、感性も育ちません。感性とは、親と子との営みの中から育つのです。

子どものメディアの問題は、これからの子ども達がたくましく生きていくためには避けて通れない問題です。学校・家庭・地域が連携してこの問題に当たる必要があります。本校では、子どものメディア対策について今後どうあればよいかをテーマに「第2回北小の教育を語る会」を6月13日（水）に学校で開催します。保護者なら誰でも参加できる会です。ご希望の方は、本校教頭までご連絡をいただければと思います。学校・家庭・地域で連携し子どもをよりよく育てていきたいと思っています。



## SNS・ネット利用のルール・フィルタリングの実態について

平日1日のSNSの利用時間	全校		フィルタリング機能を付けているか	全校 保護者
	児童	保護者		
①1時間未満	95	91	ア 付けている	150
②1時間以上～2時間未満	32	19	イ 付けていない	144
③2時間以上～3時間未満	12	14		
④3時間以上～4時間未満	6	2	フィルタリングを利用しない理由	全校
⑥4時間以上～5時間未満	0	0		保護者
⑥5時間以上	0	0	①家族の所有しているものを使わせているため	95
⑦SNSは使わない	238	246	②安全に利用できる知識や判断力を子どもが持っているため	7
			③フィルタリング昨日やその設定の仕方を知らないため	22
			④フィルタリング機能は不要だと思うため	10
			⑤その他	27
休日1日のSNSの利用時間	全校			
	児童	保護者		
①1時間未満	85	80		
②1時間以上～2時間未満	39	25		
③2時間以上～3時間未満	12	13		
④3時間以上～4時間未満	13	14		
⑥4時間以上～5時間未満	3	1		
⑥5時間以上	2	2		
⑦SNSは使わない	229	237		
ネット利用のルール	全校			
	児童	保護者		
ア ルールを決めている	176	205		
イ ルールを決めていない	207	173		
ルールを守っているか	全校			
	児童	保護者		
①守っている	133	155		
②ときどき守っている	39	44		
③守っていない	4	6		

○平日のネット利用率 37.8%  
 ○休日のネット利用率 40.2%  
 \* ネット利用時間については、保護者が捉えた利用時間より、児童が答えた利用時間の方が長い傾向

○ルールについて  
 \* ルールを決めていると回答した児童が45.9%、保護者の回答では54.2%とルールに関する認識の差が感じられる

○フィルタリングについて  
 \* 親のスマホを利用しているため、フィルタリングを付けてない場合が多い